

医局だより



ロボット支援下手術

こんにちは！

3月に書いておりますが、2月号です。遅くてすみません。

2月というのに少し暖かくなってまいりました。嬉しいようですが、それとともに花粉が飛び始めてきました。花粉症がない方は良いですが、寒さをとるか花粉をとるか…究極の選択です。

今月号では、医科歯科大・産婦人科の中で、ここ一年で大きく変わった手術についてお話したいと思います。題名にもありますように、ロボット支援下手術、通称ダ・ヴィンチ手術です！私たちの科では、2018年3月13日に東京医大の井坂恵一先生をお呼びし、指導を受けながら第1例目を行いました。そして回数を重ねて、2018年に全部で8症例の手術を行いました。

大学全体では、外科や泌尿器科などもダ・ヴィンチ手術を多くやっております。そして2018年9月に施設として記念すべき100症例目に到達しました！そしてなんとその100症例目は我が産婦人科の担当症例でした！！ちょっと良いところ取りな感じですが。。100症例達成を記念して、大学に記念の盾が贈られてきたようです。ずうずうしくも、麻酔科の先生から一時的にお借りして、医局に飾っております。そして写真も撮ってみました。素敵な盾です。ありがとうございます！医局員みんなで拝んでから麻酔科にお返します。

これを励みにまた手術をがんばりましょう！



ダ・ヴィンチ手術は吉木先生がメインで行っております。術者は手洗いをせず、患者さんと離れた場所の 3D モニター画面を見ながら手術を行います。ものものしいアームがたくさん伸びた機械が患者さんを覆い、近未来の手術をみている気分になります。はじめは少し時間がかかったところもありましたが、最近では手術時間もみるみる短縮しています。先週は初めて 1 日 2 件のダ・ヴィンチ手術を行いました。麻酔科から「ちゃんと終わりますか？」と釘を刺されてしまいましたが、吉木先生は見事に終わらせました！素晴らしいです！！これからも症例を蓄積して、安全で低侵襲な手術を目指してまいります！

さて、多摩総合医療センターから研修に来ていた丘先生が2月で異動になり、2月12日に送別会を開きました。いつものように送別だけどとても楽しそうな会です。顔が赤い気がしますけどきっと照明の関係です。



多摩からはこれまで何人もの先生が半年毎ぐらいで研修をしにきてくれました。みなさんしっかり勉強もしますし、よく働いてくれます。丘先生も病棟業務をしっかりこなし、最後には東京産科婦人科学会で発表もしました。医科歯科で学んだことを今後にも生かして、また学会かどこかで成長した姿をみせてください！楽しみにしています！

3月は毎年恒例の野球大会があります！次の試合は3月17日だそうです。3月号は野球ニュースになるのでしょうか？忘れずに、遅れずに、医局だよりを書きますので、是非みにきてください！

2019年3月4日

文責：廣瀬 明日香